

# としょかんだより

【下條村立図書館 145号 2020年3月15日発行】

記録的な暖冬が続く1月、中国・武漢市で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中を駆け巡り大混乱を巻き起こしています。日本では2月下旬以降イベントの中止、学校の休校等を突然実施。その後も感染は広がり続け、日々の生活に多大な影響を及ぼしています。この先どうなるのか?…本には前史が記録されています。人類の歴史は、疫病との闘いでもあったのです。

## 読んでもらうの大好き!

### 下條保育所☆絵本の時間

3月11日(水)午後3:20、下條保育所では、お帰り前の絵本の時間が始まりました。年長つき組では、帰りのしたくができた子どもたちが並ぶと加藤美佳先生がお話を始めます。

わらべうたを2つ3つ楽しんだ後、“おはなしのろうそく”に火をつけ、先生が絵本『まわるおすしやさん』(福音館こどものとも)を読み始めます。子どもたちは夢中になって聞き入り、途中笑ったり何か言ったりしながら、お話の流れに沿うように最後までじっくりと楽しんでいました。

今日はちょうど“配本の日”!園からおすすめの絵本を、希望者が購入する方法をとっています。年長さんでは、今回先生が読んだ本『まわるおすしやさん』が選ばれました。下條保育所の先生たちは、年間7回絵本の勉強会で下沢洋子先生(ガンバの会主催)から学んでいます。この絵本は、勉強会でお勧めされた絵本から選んだものだそうです。

配本は年に3回(6月・12月・3月)、年少~年長さんに実施しています。同学年の先生たちが相談し、選んだ何冊かの絵本を子どもたちに読み、反応を確かめてから1冊を決めるとのこと。今日も、先生から絵本が一人ひとりに配られると、子どもたちは先生と言葉を交わしながら絵本を大切そうに抱きしめました。きっと、家ではいっぱい読んでもらえることでしょう!

今年、年長さんは佐藤圭代さん(お話の語り手)による昔話の語り(おぼえて語る)を、1年に3回聞く機会がありました。「最初は、子どもたちが絵のないお話を聞くことはたいへんかな?と思ったけれど、回を重ねるうちにお話だけでも本当に楽しめるようになって驚きました」と美佳先生。今では童話『いやいやえん』(福音館)なども、どんどん読んで楽しんでいるそうです😊 次ページに続く

2020年3月現在の  
下條保育所“絵本の時間”  
を取材しました!



つき組お帰り前の絵本タイム。子どもたちは絵本が大好き!



つき組の絵本棚。おすすめの絵本や童話が並び、子どもたちに人気です

#### もくじ

- 1p: 保育所絵本の時間
- 2p: //
- 3p: 2年度おたのしみ会
- 4p: 新刊ぴっくあつぱ

# おかえりの時間に絵本タイム

現在、下條保育所では、クラスごとで朝、昼、夕方に、先生が絵本を読んでいます！

- ①8:00 登園、遊んだ後クラスに戻って、**10:00 ごろ絵本(\*^\*)**
  - ②11:30 からお昼ご飯を食べた後、お昼寝の前、**12:30 ごろ絵本(\*^\*)**
  - ③15:00 おやつを食べた後、「さよならのうた」をうたう前、**15:20 ごろ絵本(\*^\*)**
- } どちらか1回 もう1回



年中ぞう組 お帰り前に絵本を読んでもらう子どもたち

3月11日お帰りの前、年中ぞう組では仲平千恵子先生が絵本『おさるとぼうしうり』(福音館)を読んでいました。年中さんにはむずかしいかな?と思われる絵本ですが、この楽しそうな様子!先生への信頼があるからこそ!の姿でした。

年長ほし組、年中きりん組、年少あひる組、うさぎ組でも、クラスごと帰りの支度ができる子どもたちが並び、先生が絵本を読むと子どもたちは、いっしんに絵本に聞き入っていました。

未満児もも組(0~1歳児)、いちご組(2歳児)は、子ども一人ひとりをお膝にだっこして読んであげるそうです。保育園で、毎日絵本を読んでもらう子どもたち…きっと絵本のよさをひとり一人が知っています。先生が読んでくれる“絵本の時間”は、子どもたちにとって宝物になっているようです😊

## 宮沢能理子園長のことば

下沢洋子先生の勉強会で保育士たちが学んできた「子どもに絵本を読むことの大切さ」が、日々の保育に生きていると思います。佐藤圭代さんの昔話を聞くようになった年長さんたちを見ると、「聞く力」がついてきたと感じます。

子どもたちには、「耳で聞く力」をつけていってほしい。図書館は、そのいい基礎をつくってもらえるところ。赤ちゃんとまだ本が読めなくても、親と一緒に図書館に行く経験や、家に本があり大人が本を読む姿を見せる大事です。

下條保育所では、子どもたちが豊かな自然で思い切り遊び、絵本やお話を聞いて感性を養う、そんな原体験を大切にしたいと思っています。



下條保育所の廊下にある絵本棚。昭和40~50年代刊行の貴重な絵本(希少本)も見できました!

## 下條村 保育所のあゆみ

昭和9(1933)年6月	女子青年団が主体となり農繁期託児所を開設。
昭和24(1949)年	農繁期季節保育所を開設。
昭和33(1958)年6月	村主体で農繁期季節保育所を村内5か所に開設。
昭和38(1963)年4月	阿南高分校跡地に陽臈保育所開設(手塚原:中島重威氏)。 その後、村営で睦沢保育所、親田保育所開設。
昭和47(1972)年	村営で陽臈保育所開設。
昭和56(1981)年	新・睦沢保育所(粒一南)の建設工事始まる。
昭和57(1982)年	新・睦沢保育所(粒一南)施設完成。
平成3(1991)年	3園(親田・睦沢・陽臈)統合し現在の村立下條保育所(北又)開設。 (『下條村の百年』及び関係者証言より作成)

記録、証言で  
みる下條保育  
所の歩み。

# おたのしみ会年間日程表

令和2(2020)年

月 日	時 間	タ イ プ	内 容	講 師・上 演 者
5月 10日 (日)	10:00~	母の日にプレゼント! デコクレイで花かごを つくろう	母の日に感謝の気持ち を込めて粘土でカーネーションの花束を作つて贈ろう。	池知 由美子さん (宮田村)
8月 上旬	未定	夏休み人形劇 おたのしみ会 (子ども読書月間)	夏休みには、本格的な 人形劇を観ましよう! 今年も、おたのしみに。	未定
11月 3日 (火) 文化の日	10:00~	かわいい小物づくり ワークショップ	カンタンで素敵で、胸キュン♡な「こもの」づくり。 おたのしみに。	滝沢 好美さん (飯田市)
12月 6日 (日)	10:15~ 11:00~	「むかし話の語り」を 聞くおはなしの会 (下條村読書月間)	人間がのこした口承の文 化遺産といわれる昔話。 日本や世界の昔話を心 ゆくまで楽しみましょう。	佐藤 圭代さん (飯田市)
12月 12日 (土)	10:00~ 18:00	「としょかんまつり」 読書手帳チャンピオン ほか (下條村読書月間)	読書月間の最後は「としょかんまつり」を盛大に開 催!「おたのしみブース」 で、まる一日楽しもう!	図書館友の会 図書館スタッフ ほか
12月 12日 (土)	10:00~ 17:00	本を借りたら 包丁研ぎサービス (読書月間・としょかんまつり)	年末には切れる包丁で お料理しましょう。年に一 度の大助かり企画。	堀尾 伸夫さん (下條村・小松原)
2月 7日 (日)	10:00~	人形づくり ワークショップ	今年も、新しい人形づくり にチャレンジしよう!	吉澤 亜由美さん (下條村・山一西)

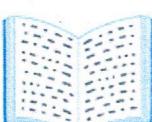
\*あくまでも予定ですので変更の可能性もあります。

**下條村立図書館  
開館25周年記念イベント☆**  
**8月1日(土)コスモホール**  
**絵本作家 浜田桂子さん**  
**講演会 開催予定!**

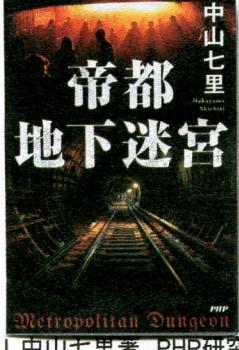
浜田桂子さん著作『あやちゃんのうまれたひ』『ペカンの木のぼったよ』(福音館・子どものとも)、『あそぼうあそぼうおとうさん』『あそぼうあそぼうおかあさん』『てとてとてとて』『わらう』『おとをつくろう』(福音館・かがくのとも)、『さっちゃんとなっちゃん』『ぼくがあかちゃんだったとき』(教育画劇)ほか多数

**新型コロナウイルス感染拡大に伴う  
当面の村図書館利用についてのお願い**  
(通常通り開館としていますが一部制限を設けています)  
 ①長時間の滞在はご遠慮ください  
 ②子どもだけの利用、学習場所としての利用は  
ご遠慮ください  
 ③児童・生徒の利用は保護者同伴でお願いします  
 ④ご来館の際は、咳エチケット、入り口での  
アルコール消毒をお願いいたします

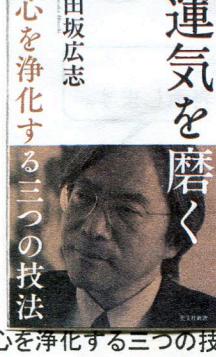
フランスの作家アルベール・カミュが1947年に発表した小説『ペスト』が今売っています。当時流行ったペストの感染拡大を防ぐため、封鎖されたアルジェリアの都市と現在の武漢が酷似しているからです。混乱の中、人間はどう生きるのか?ぜひご一読を。



# 新刊 ぴっくあっぷ



「帝都地下迷宮」中山七里著 PHP研究所／鉄道マニアの小日向は、ある日、廃駅となっている地下鉄銀座線萬世橋駅へと潜り込む。そこには政府の「ある事情」により地下空間で暮らす謎の集団が。さらに殺人事件が起これり...。\*Fナ



「運気を磨く 心を浄化する三つの技法」田坂広志著 光文社／なぜ、志や使命感を持つ人は「良い運気」を引き寄せるのか。「運気」と呼ばれるものの存在を決して否定できないと感じている工学博士が、最先端量子科学で「運気」の本質を解き明かす。\*159タ



「赤ちゃんはどこからくるの？親子で学ぶはじめての性教育」のじまなみ著 幻冬舎／小さな頃から正しい性の知識を身につけることで、子どもの自己肯定感が高まります。3歳から10歳までに教えたい性の話を、イラストとともに伝えます。「おうちの方へのアドバイス」も掲載。クイズ等あります。\*367ノ



「10歳までに身につけたい子どもが一生困らない片づけ・そうじのコツ この生活習慣が、自己管理力を伸ばします」山口由紀子著／モノを整理する、いつも部屋をきれいにする、時間や段取りを考える...。学校では教えてくれないけれど、生きていくためには大切。子どものうちに伝えておきたい教訓が詰め込まれています。\*367ノ



「ドミノin上海」恩田陸著 KADOKAWA／上海のホテル「青龍飯店」で、25人(と3匹)の思惑が重なり合う。もつれ合う人々、見知らぬ者同士がすれ違うその一瞬、運命のドミノが次々と倒れてゆく。圧巻のエンタテインメント。\*Fオ



「空気を読む脳」中野信子著 講談社／なぜ、相手や周りの気持ちがわかりすぎる人ほど生きづらいの？日本の心性について、脳科学を中心とした科学的なエビデンスをもとに論じる。日本人の脳の「強み」を知る、不自由さを突き抜けるための処方箋。\*491ナ



「免疫力を強くする 最新科学が語るワクチンと免疫のしくみ」宮坂昌之著 講談社／健康食品やサプリメント・ワクチン...。免疫に関する情報のウソ・ホントは？免疫学の第一人者が、予防接種や話題の「がん免疫療法」など、科学的に正しい「免疫力の高め方」をわかりやすく解説。著者は上田市出身。\*491ミ



「野菜まるごと畑のびん詰め」西村千恵著 NHK出版／新鮮な野菜が手に入ったら、あますところなくびん詰めに。パスタや魚に「かけるだけ」、ひき肉など手近な食材と「まぜるだけ」など、簡単においしく食べられる、野菜のびん詰めの作り方



「うちの父が運転をやめません」垣谷美雨著 KADOKAWA／高齢者ドライバーの事故を伝えるニュースを見た雅志は、父親も78歳になることに気づく。不安になって、父親に運転をやめるよう説得を試みるが...。親の運転をきっかけに家族が新たな一步を踏み出す、心温まる家族小説。\*Fカ



「野守虫」柴田哲孝著 光文社／強盗容疑で勾留されていた竹迫和也が弁護士と接見中に脱走。彼は、「乗り鉄」刑事・片倉康孝が6年前に逮捕した男だった。片倉は休暇を使い、秘境のローカル線・飯田線で天龍峠に赴くが...。\*Fシ



「超★簡単楽器づくり」親子で！おうちで！さくっとできる！」井上明美著 ヤマハミュージック／つくて、あそべて、子どもが夢中！「楽器づくり」をテーマに、家庭で簡単にできる楽器工作のアイデアを写真やイラストとともに紹介する。脳と心を育む、親子のふれあい音楽あそびシリーズ。\*599イ



「齐藤謠子の布で描くいきものたち キルのバッグ、ポーチ、タペストリー」NHK出版／いきもののたちの愛らしい表情を針と糸で表現したアイテムが満載！かめ、ぞうなど、英字表記した際の名前の頭文字がa～zのいきものをデザインしたタペストリーや、いきものをモチーフ